

## 2018年度トッパー協会総会議事録

開催日時：2019年1月26日 18時～18時20分

場所：伊東市 開福丸

出席者：辻野 桜井 村山 宮原 森崎 金沢 戸田 村橋 野沢 佐々木  
個人会員24名、団体会員1団体中、10名出席 11名委任状 総会は成立

### 2018年度活動報告

資料に基づき説明、

- ・全関西選手権大会、6月10日琵琶湖真野浜で開催 参加12艇  
4レース実施 野沢選手の優勝。佐々木選手2位。
- ・全関東選手権大会 6月24日山中湖で開催。参加10艇。  
2レース実施でき、0～1mの風。吉岡博選手の優勝。佐々木選手2位。
- ・大阪市長杯 7月16日大阪北港で開催。トッパー参加13艇 朝野選手優勝
- ・トッパー全国大会 10月14日琵琶湖真野浜で開催。オープン含めて参加19艇。  
3レース実施 野沢選手の優勝、佐々木選手2位、辻野選手3位。
- ・ワールド大会参加 8月15日～8月21日中国深センにて開催  
2レース実施 12名エントリー

### 2019年度活動報告

資料に基づき説明、

全関東選手権大会	6月23日(日)予定	山中湖	担当役員佐々木 守
全関西選手権大会	6月 9日(日)予定	琵琶湖	担当役員宮口 俊之
ワールド大会	7月22日～7月26日	オランダ	(参加未定) 担当役員辻野
充、新家憲一郎			
全日本選手権大会	10月19日(土)～20日(日)予定	琵琶湖	担当役員辻野 充
大阪市長杯	7月 日(未定)	大阪北港	

日程は仮であり今後決定する。

2019年ワールドはオランダ、2名参加するかもしれない

### 2018年度決算報告

決算書のとおり承認された。

### 2019年度予算案

繰り越し238,583円

収入

年会費	3,000円×25＝	75,000円	(前年計画25名)
団体	10,000円×2＝	20,000円	
全日本 補助金		0円	
収入計(繰越を除く)		95,000円	

支出

全日本推進費	20,000円	(前年計画20,000円)
全関東推進費	27,000円	(前年計画20,000円)
全関西推進費(大阪市長杯含)	10,000円	(前年計画20,000円)
通信費	7,460円	
大会保険	0円	
JSAF加盟費	30,540円	
支出計	95,000円	

### 各大会の参加費、協会年会費について

現状	日本トッパー協会	年会費	3,000円
	全関西参加費	大人3,000円	大学生以下2,000円
	全関東参加費	4,000円	
	全国大会参加費	大人5,000円	大学生3,000円 高校生以下 2,000円

参加者の減少による会費収入減の状況下、大会の運営は一定のコストがかかるため、  
会費の大部分は大会推進費として支出している状況です。  
2017年度は大幅な赤字を計上した為、2018年度は、全国大会1日開催、参加費の値上げ、  
経費（干、保険）の削減、などの施策により、若干の黒字に転化しました。  
ただ、2018年度はワールド参加のための一時的な会員増の要因もあります。  
収支が厳しいからと言って安易に値上げをしていくと、更なる参加者減少にもなりかねないため、  
ここに協議事項として取り上げました。

- 検討事項 ① 年会費の変更について  
② 各大会参加費の変更について

全国大会でなく、全日本なら赤字になる。  
レース参加費もレーザーなどはもっと高い。  
引き続き、検討していくこととする。

オーナー会員の減少に伴う協会活動休止の検討開始時期について  
今すぐのお話しではありません。

- ①全国大会エントリー 19艇 内レンタル艇 13艇
- ②オーナー会員の高齢化
- ③レンタル艇の劣化、老朽化
- ④会員数の最下限を決めるか？
- ⑤活動休止か解散か？
- ⑥現在の協会資産は約24万円 仮に年赤字3万円としても8年間
- ⑦仮に解散とすれば、協会資産の処分方法

真野浜での活動もいつまで維持できるかわからない。  
昔は会員が100名近くの時もあったが、高齢化で減少している。  
すぐにではないが、活動休止も視野に入れた検討を開始していく。